

進行相における“在～”、“～着”の特徴と意味分析

尹 美 蓮

Abstract

According to previous research, both “zai(在)” and “zhe(着)” can express both the progressive form and the continuous form. This study examines the characteristics, and the limits brought about by the characteristics of “zai(在)” and “zhe(着)” on the progressive forms. Furthermore, this study analyzes the meanings and the constraints on the use of “zai(在)” and “zhe(着)”, in particular the fact that there are cases in which “zai(在)” and “zhe(着)” are interchangeable, and there are cases in which they are not.

キーワード……進行相 非完結性 持続性 過程

1 はじめに

“在”は本来動詞として「存在する・いる」という意味で、“着”は本来動詞として「付着する」という意味を表す。“在”は動詞として単独で使われる場合も多いが、これ以外にも介詞と副詞の用法もある。“着”は本来の動詞としての用法より、多くは助詞としてその役割を果たす。本稿は朱継征(2000)の中国語の動相分類¹⁾に基づいて、進行相における“在+VP”と“V+着(+NP)”について分析する。これまでの研究(呂叔湘(1980)、藤堂明保・相原茂(1985)、劉月華・潘文娛・故韡(1996)、興水優・島田亜実(2009)、朱継征(2000)、肖奚强(2002)、王学群(2007)、王娇(2011)、木村英樹(2012)、杨西彬(2013))では“在”は「進行」を表す、“在”は「持続」を表す、“着”は「進行」を表す、“着”は「持続」を表すなどさまざまな観点が見られる。“在”、“着”は進行相において開始も終了も表さず、動作の進行中を表す。本稿は進行相における“在”、“着”の特徴と両者の意味分析を試みる。

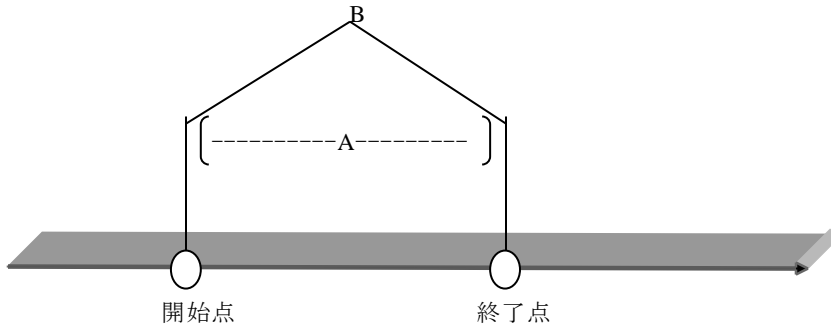
2 “在”、“着”の特徴

2.1 “在”、“着”の非完結性

“在”、“着”は両方とも非完結性を持つ。非完結性とはある出来事の動作の開始或いは終了は表さず、動作が開始した後から動作が終了するまでの過程を表す。非完結性は完結性と相対的な概念であり、完結性とはある出来事の動作の開始から終了までのひとまとまりの動作(動作

の開始から終了までのことを指す)を表す。その区別は図 1 に示す通りである。

図 1



A=ある出来事の動作の開始或いは終了は表さず、動作が開始した後から動作が終了するまでの過程即ち全体の一部分を表す。開始点と終了点を含まない。

B=ある出来事の動作の開始から終了までのひとまとまりの動作を表す。開始点と終了点を含む。

- (1) a. 我在吃饭。
(私はご飯を食べている。)
- b. 我吃着饭呢。
(私はご飯を食べている。)
- c. 我吃完饭了。
(私はご飯を食べた。)
- (2) a. 我在写作业。
(私は宿題をやっている。)
- b. 我写着作业呢。
(私は宿題をやっている。)
- c. 我写完作业了。
(私は宿題をやり終えた。)
- (3) a. 北京在下雪。
(北京は雪が降っている。)
- b. 北京下着雪呢。
(北京は雪が降っている。)
- c. 北京下了一场雪。
(北京は雪が降った。)

例文(1a)-(1b)は両方とも動作の開始「食べ始めた」と動作の終了「食べ終わった」には着眼せず、過程の「食べている」だけを観察している。例文(2a)-(2b)、(3a)-(3b)も同じく、過程の「やっている」、「降っている」だけを観察している。一方、例文(1c)は動作の開始「食べ始めた」から動作の終了「食べ終わった」までのひとまとまりの動作を観察した上で初めて「ご飯を食べた」と言える。例文(2c)、(3c)も同じく、ひとまとまりの動作を観察している。

戴耀晶(2001)²⁾は“着”について次のように指摘している。“着”は①具体的な時間の長さを表す語句、②具体的な動作量を標示する語句、③動補構造をもつ語句と共起できない。なぜなら、それらの語句のために文が表す出来事が完結性を帯びてしまうからである。戴耀晶(2001)では“着”が持つ非完結性について具体的に述べられている。しかし、“着”が持つ非完結性と動相形式としてはたす役割との関係性については言及されていない。本稿ではこの説に基づき、非完結性を持つ“着”は進行相においてどのような役割をするか、それに同じく進行相の動相形式である“在”は完結性をもたらす語句と共起できるかを考察する。また、非完結性が文にどのような意味を付与するかを考察する。

① “在”、“着”が具体的な時間の長さを表す語句と共起する場合

- (4) a. *我在吃半个小时饭。
 b. *我写着一个月作业呢。
- (5) a. *我在炒十分钟菜。
 b. *我切着十五分钟肉呢。

上記の例文(4)、(5)で用いる“半个小时(30分間)”、“一个月(1カ月間)”、“十分钟(10分間)”、“十五分钟(15分間)”はどちらも具体的な時間の長さで、過程を表す“在吃饭(ご飯を食べている)”、“写着作业呢(宿題をやっている)”、“在炒菜(野菜を炒めている)”、“切着肉呢(肉を切っている)”とは矛盾してしまう。出来事の開始と終了にまったく触れない過程は「どのぐらいの時間をかけてご飯を食べたか」、「どのぐらいの時間をかけて宿題をやったか」、「どのぐらいの時間をかけて野菜を炒めたか」、「どのぐらいの時間をかけて肉を切ったか」を表すことができない。次のように文を改めることができる。

- (6) a. 我吃饭吃了半个小时。
 (私はご飯を30分間食べた。)
- b. 我写作业写了一个月。
 (私は宿題を1ヶ月間やった。)
- (7) a. 我炒菜炒了十分钟。
 (私は野菜を10分間炒めた。)

- b. 我切肉切了十五分钟。

（私は肉を15分間切った。）

② “在”、“着”が具体的な動作量を標示する語句と共起する場合

- (8) a. *他在唱两遍歌。

- b. *他睡着一觉呢。

- (9) a. *他在跳两支舞。

- b. *他画着三幅画呢。

例文(8)、(9)の“两遍(二回)”、“一觉(ちょっと)”、“两支(二曲)”、“三幅(三枚)”はいずれも具体的な動作量を表現しており、過程を表す“在唱歌(歌を歌っている)”、“正睡着呢(寝ている)”、“在跳舞(踊っている)”、“画着画呢(絵を画いている)”と矛盾してしまう。まだ動作が進行しているため、「歌を何回歌ったか」、「どのぐらい寝たか」、「何曲踊ったか」、「何枚描いたか」を表すことができない。次のように文を訂正することができる。

- (10) a. 他唱了两遍歌。

（彼は歌を二回歌った。）

- b. 他睡了一觉。

（彼はちょっと寝た。）

- (11) a. 他跳了两支舞。

（彼は二曲踊った。）

- b. 他画了三幅画。

（彼は絵を三枚描いた。）

③ “在”、“着”が結果義を表す動補構造³⁾をもつ語句と共起する場合

- (12) a. *小林在找到书。

- b. *小林读懂着课文呢。

- (13) a. *小林在踢翻椅子。

- b. *小林买上着机票呢。

例文(12a)で用いられている“找到”は「探して、見つけた」という二つの意味が含意され、すでに「探している」段階を経過して、「本を見つけた」という結果に至っていることを表す。

例文(12b)も同じく“读懂”は「読んで、理解した」という二つの意味が含意され、すでに「読んでいる」段階を経過して、「教科書の内容を理解した」という結果に至っていることを表す。例文(13)で用いられる“踢翻”、“买上”もそれぞれ「蹴って、ひっくり返した」、「買い付けた」という意味で結果義を持つ。そのため、過程を表す“在”、“着”とは共起できない。次のように改めると適切である。

- (14) a. 小林找到了书。
(小林は本を見つけた。)
- b. 小林读懂了课文。
(小林は教科書の内容を理解した。)
- (15) a. 小林踢翻了椅子。
(小林は椅子を蹴って、ひっくり返した。)
- b. 小林买上了机票。
(小林は航空券を買い付けた。)

上述で“在”、“着”の非完結性という特徴を分析した結果、ある出来事の動作の開始或いは終了は表さず、動作が開始した後から動作が終了するまでの過程は進行を表すことが明らかになった。本稿では朱継征(2000)の中国語の動相分類により、動作の動きを大きく状態と過程この二つに分けることができると考える。具体的に言うと、動作の動きがまだ開始していないが、すでに開始の態勢に入っている段階、動作の動きの終了によってある場所にある人物或いは事物が残存される段階や動作の終了によって動作主の姿勢や受け手の静止状態が持続する段階を状態と言う。一方、動作の動きが開始した後から終了までの段階を過程と言う。言い換えれば、動作の動きは「状態—過程—状態」という流れであると考え。進行相における“在”、“着”は状態ではなく過程を表す。過程は非完結性を持ち、完結性をもたらす具体的な時間の長さ、動作量を表す語句や結果義を持つ動補構造とは共起できない。

2.2 “着”の完結性

“着”は進行相の動相形式でありながら、残存相と持続相⁴⁾にも用いられる。ここでは進行相に用いる際の非完結性とは異なり、残存相と持続相に用いる際は完結性を持つ。即ち動作の動きの流れの中で過程段階を過ぎた後の状態段階を指す。また、状態段階を残存と結果の二つに細分する。

残存の状態は動作が終了した後残存する人物や事物に着眼する。

- (16) 便签上写着—行字。
(メモ紙に文字が一行書いてある。)

(17) 餐桌上摆着烤鸭。

(食卓到北京ダックが置いてある。)

例文(16)-(17)はどちらもある動作が終了した後、この動作によって何かが残存することになるという意味を表す。動作はすでに終了している。終了していなければ、何かが残存することはない。動作“写(書く)”、“摆(置く)”が終了したため、それによって“便签上有字(メモ紙に字が書いてある)”、“饭桌上有烤鸭(食卓到北京ダックがある)”が成立する。完結性は動作のひとつとまりの全体を観察した上の状態を表す。

一方、結果の状態は動作が終了した後の結果に着眼する。

(18) 她一直坐着。

(彼女はずっと座っている。)

(19) 屋里的灯还亮着。

(部屋の明かりはまだ点いている。)

例文(18)-(19)はどちらもある動作が終了した後、動作主の姿勢或いは動作の受け手の静止状態がずっと持続するという意味を表し、動作はすでに終了している。例文(18)の場合、「彼女がどこかに腰をかけた後、ずっとそのまま座っているという結果が持続する」ことを表す。例文(19)の場合、「誰かが部屋の明かりを点け、ずっとそのまま点いている結果が持続する」ことを表す。

“着”は非完結性と完結性という二つの特徴を持ち、過程を表すこともできれば、状態を表すこともできる。

2.3 “在”、“着”の持続性

進行相における“在”、“着”は持続性⁵⁾を持つ。持続性は出来事が必要とする過程、即ち一定の時間の幅を指す。この過程を「線」と見なす。動作の動きは「状態—過程—状態」という流れであると述べたが、動詞自身の特徴によって、過程の段階が捉えられるものもあれば捉えられない或いは捉えにくいものもある。

(20) a. 小明在上课。

(小明は授業に出席中だ。)

b. 小明正上着课呢。

(小明は授業に出席中だ。)

(21) a. 老王在开会。

(王さんは会議中だ。)

b. 老王开着会呢。

(王さんは会議中だ。)

(22) a. *李老师在离开学校。

b. *李老师离开着学校。

(23) a. *老王在死。

b. *老王死着。

例文(20)、(21)の出来事はいずれも過程を表す。“上课(授業に出席する)”、“开会(会議を行う)”は出来事自体に一定の過程が必要で、持続性を持つ“在”、“着”と共起できる。一方、例文(22)、(23)の“离开(離れる)”、“死(死ぬ)”のような動作の開始と終了がほぼ重なっている瞬間動詞は出来事自体に過程がない。それゆえ、持続性を持つ“在”、“着”と共起できない。しかし、以下のような適格文もある。

(24) a. 最严重的问题是许多有才干的高级管理人员正在纷纷离开。 (CCL)

(もっとも重大な問題はたくさんの能力があるトップ管理者が次々と離れて行く。)

b. 他舞退着，他的心正离开着她，他知道。 (CCL)

(彼は退いている。彼は自分の心が少しずつ彼女から離れて行っていることがわかった。)

瞬間動詞は“死(死ぬ)”、“倒(倒れる)”、“离开(離れる)”、“毕业(卒業する)”のような動作自身が反復不可能のタイプ⁶⁾と“打(打つ)”、“敲(叩く)”、“点(うなづく)”のような動作自身が反復可能のタイプ⁷⁾に分けられる。例文(24)での“离开(離れる)”は瞬間動詞でありながら、動作自身が反復不可能である。しかし、(24a)での動作の主体は一人ではなく複数であり、「離れる」動作が一定の時間の中で一人一人によって絶えなく行われていることを表す。それに、(24b)では、動作の主体は一人だけであるが、文全体の意味を考慮し、「心が離れる」という動作は「どこから離れる」という動作とはまた別の解釈がある。「心が離れる」とは「相手に対する気持ちが少しずつ薄くなって行く」過程を表し、「どこから離れる」とは「瞬間的な動作」であり、過程を表すことができない。このことによって、持続性つまり過程を表し、“在”と共起して進行中を表すことができるようになる。それゆえ、場合によって例文(24)のように動詞自身の特徴だけではなく、文全体の要素と意味を考慮する必要がある。

また、一部の反復不可能の瞬間動詞に後続する趨向補語“(下)去”が持続性をもたらす場合もある。例文(25a)、(26a)のように“死(死ぬ)”、“倒(倒れる)”を瞬間的に終了するものと捉えず、それぞれ「息が完全に絶える寸前を長く伸ばし少しずつ死まで至る」過程と「たくさん

の木々が一斉に倒れてしまうことではなく、ドミノのように一本の木が倒れたらもう一本の木が引き続き倒れる」過程を表す。しかし、“在”は趨向補語“(下)去”と共起できるが、“着”はできない。

- (25) a. 她疼痛万分，好像觉得她身上有一块东西给扯掉似的，她在死去。 (CCL)
(彼女はまさに自分の身の一部分が引き裂かれているように心を非常に痛めている。彼女はだんだん死んで行く。)
- b. *她疼痛万分，好像觉得她身上有一块东西给扯掉似的，她死去着。
- (26) a. 整片森林的树都在倒下去。
(森の木々が次々と倒れて行く。)
- b. *整片森林的树都倒下去着。

一方、反復可能の瞬間動詞は持続性を持つ“在”、“着”のどちらとも共起できる。

- (27) a. 主持人王灿：佳明也在点头，这个不正确，挣钱还是挺多的。 (CCL)
(司会者の王燦が言った：佳明もうなづいている。これは正しくない。稼ぎはやはりけっこう多い。)
- b. 他使劲儿点着头，说：“你是田雨大哥，想不到在这儿碰到你，你的眼力真好”
(《金光大道》)
(彼は大きくなづきながら言った：「田雨さんですね。こんなところで会うなんて、ほんとうに目がききますねえ」)
(『耀ける道』)
- (28) a. 咚、咚、咚！谁在敲门？我不由自主想要起身去开门。 (CCL)
(トン、トン、トン！誰がノックしているのか？私は思わず立ち上がってドアを開けようとした。)
- b. 忽然有人轻轻敲着门的下面。 (CCL)
(突然誰かが静かにドアの下をノックしている。)

“点(うなづく)”、“敲(叩く)”はいずれも反復可能の瞬間動詞で、“在”、“着”と共起し、「一回ではなく、何回も動作を繰り返している」ことを表す。例文(27)の場合、前後の文脈によって解釈すると「何かに対し、何回かのうなづく動作で正しくないと伝えている」ということを表す。もし、動作が反復していないとしたら、“在”、“着”を用いずに、“了”を用いて、それぞれ“佳明也点了头(佳明もうなづいた)”、“他使劲儿点了头(彼は大きくなづいた)”で一回だけの動作を表すか或いは過程ではなく、ひとまとまりの動作が終了したことを表す。例文(28)も同様の解釈で、「ドアを叩いている」ということを伝えている。もし、動作が反復していない

としたら、それぞれ“谁敲了门？谁敲门了？（誰がドアを叩いた？）”、“有人轻轻敲了门的下面。（誰かが静かにドアの下を叩いた。）”で、一回だけの動作を表すか或いは過程ではなく、ひとまとまりの動作が終了したことを表す。

また、“拿(持つ/取る)”、“穿(着る)”、“刻(刻む/彫る)”、“挂(掛ける)”、“系(結ぶ)”、“捏(つまむ)”、“写(書く)”、“画(描く)”のような動詞は異なる文において異なる意味を表す。これらの動詞は多義で、文によって過程か状態を表すことができる。これらの動詞と“在”、“着”の共起を観察しよう。

- (29) a. 他在拿《现代汉语八百词》。 (劉綺紋 2006:p294)
 (彼は『現代漢語八百詞』を手に取りつつある。) (劉綺紋訳)
- b. 他拿着《现代汉语八百词》。 (ibid)
 (彼は『現代漢語八百詞』を手を持っている。) (ibid)
- (30) a. 小王在穿和服。
 (王さんは着物の着付をしている。)
- b. 小王身上穿着雪白的婚纱。
 (王さんは真っ白なウェディングドレスを着ている。)
- (31) a. 他拿着把小刀在刻木头。 (CCL)
 (彼はナイフを持って木を彫っている。)
- b. 墙上刻着一首诗。 (CCL)
 (壁に詩が一首刻まれている。)
- (32) a. 约翰正在写信。 (CCL)
 (ジョンは今手紙を書いている。)
- b. 店里到处都写着呢。 (CCL)
 (店の所々に字が書いてある。)

例文(29a)、(30a)、(31a)、(32a)はいずれも過程即ち動作の進行中を表す。それぞれ、「『現代漢語八百詞』を手に取りつつある」、「着物の着付をしている」、「木を彫っている」、「手紙を書いている」という過程を表す。一方、例文(29b)、(30b)、(31b)、(32b)はいずれも動作が終了した後の状態を表す。それぞれ、「『現代漢語八百詞』を手を持っている」、「ウェディングドレスを身に着けている」、「詩が壁に刻まれている」、「店の所々に字が書いてある」という状態を表す。つまり、同じ動詞であっても文によって意味が異なる。必ずしも過程或いは状態を表すとは限らない。

これまで、過程は「線」であると述べたが、実際過程の「線」は無数の「点」で構成されている。同じ過程でありながら、観察角度によって「点的過程」か「線的過程」かに見える。「点

的過程」とは異なる参照時点⁸⁾から観察した動作の動きを表すことを言う。「線的過程」とは特定した時間ではなく、ある時間帯で観察した動作の動きを表すことを言う。次の例文(33)-(38)を図2で説明する。

(33) 你在包里找钥匙的时候，他在吃饭。

(あなたが鞆の中の鍵を探していた時、彼はご飯を食べていた。)

(34) 你拿出钥匙要开门的时候，他在吃饭。

(あなたが鍵を出してドアを開けようとした時、彼はご飯を食べていた。)

(35) 你把钥匙插进钥匙孔里转的时候，他在吃饭。

(あなたが鍵をドアノブの中に挿して回していた時、彼はご飯を食べていた。)

(36) 当你推开门的时候，他在吃饭。

(あなたがドアを押した時、彼はご飯を食べていた。)

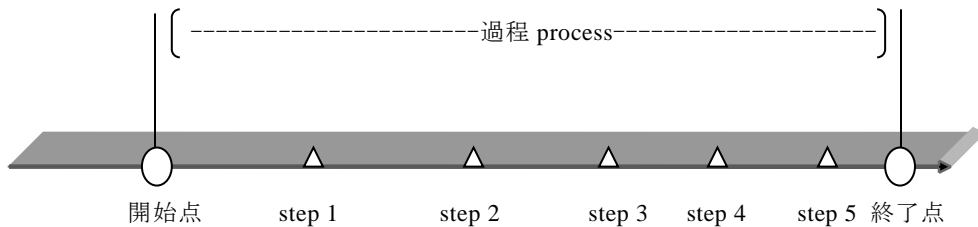
(37) 当你走进餐厅的时候，他在吃饭。

(あなたがダイニングに入った時、彼はご飯を食べていた。)

(38) 从你找钥匙开门到走进餐厅的这段时间里他一直吃着饭呢。

(あなたが鍵を探す時からダイニングへ入った時までの間、彼はずっとご飯を食べていた。)

図 2



step 1=例文(33)の参照時点：“你在包里找钥匙的时候”

(あなたが鞆の中の鍵を探していた時)

step 2=例文(34)の参照時点：“你拿出钥匙要开门的时候”

(あなたが鍵を出してドアを開けようとした時)

step 3=例文(35)の参照時点：“你把钥匙插进钥匙孔里转的时候”

(あなたが鍵をドアノブの中に挿して回していた時)

step 4=例文(36)の参照時点：“当你推开门的时候”

(あなたがドアを押した時)

step 5=例文(37)の参照時点：“当你走进餐厅的时候”

(あなたがダイニングに入った時)

process=彼がご飯を食べる。

例文(33)-(37)は「点的過程」で、時間の流れの中のある時点から動作の動きを観察し、動作の動きが終了していない限り、どの時点から見ても同じことを述べている。一方、例文(38)が「線的過程」で、特定の一点を観察したものではなく、ある時間帯での動きを捉えたものである。

(39) 上午八点你吃早饭的时候，他在开会。

(午前8時あなたが朝ご飯を食べていた時、彼は会議中だった。)

(40) 上午九点你给他打电话的时候，他在开会。

(午前9時あなたが彼に電話をかけていた時、彼は会議中だった。)

(41) 上午十点你在超市购物的时候，他在开会。

(午前10時あなたがスーパーで買い物をしていた時、彼は会議中だった。)

(42) 上午十一点你在做午饭的时候，他在开会。

(午前11時あなたが昼ご飯を支度していた時、彼は会議中だった。)

(43) 他从上午八点到十一点之间一直都在开会。

(彼は午前8時から11時までの間ずっと会議をやっていた。)

例文(39)-(42)も同じく参照時点は不断に変化しているが、同じことを観察している。つまり、観察する角度は変わっているが、実際には同じことを観察していることがわかる。例文(43)は「午前8時から11時までの間でずっと会議をやっていた」ことを表す。過程は必ず一定の時間の幅が必要で、その時間を小分けし、時点とみなすこともできれば、時間帯とみなすこともできるが、観察するのは同じ部分である。

3 “在”、“着”の意味分析

ここまでで“在”、“着”は進行相に用いられる際、非完結性と持続性の特徴を持つと述べた。そこで、次は“在”、“着”が置き換えられる場合の意味の相違、置き換えられない場合の制約要因について分析する。

3.1 動態過程と静態過程

“在”、“着”は両方とも動態過程と静態過程を表すことができる。いずれの過程を表すかは

共起する動詞の特徴と関わる。

- (44) a. 工人甲在挖土，他挖了一锹泥土，又一铁锹下去，…… (CCL)
(労働者甲は土を掘っていて、スコップ一杯すくったらまた一杯すくって、…)
- b. 工人甲挖着土，他挖了一锹泥土，又一铁锹下去，……
(労働者甲は土を掘っていて、スコップ一杯すくったらまた一杯すくって、…)
- (45) a. 我在等你。
(私はあなたを待っている。)
- b. 我等着你呢。
(私はあなたを待っている。)

例文(44)は動作動詞“挖(掘る)”が用いられ、「スコップを持って土を一杯一杯すくっている」動作によって、その過程が動態で進行していることを表す。一方、例文(45)は状態動詞“等(待つ)”が用いられ、動作は表さず、その過程が静態で進行していることを表す。動態過程は速度、変化、移動という三つの要素が含まれて、「動画化」され、過程が常に動いているように感じられる。一方、静態過程は速度、変化、移動という三つの要素が観察できず、「静止画化」され、過程が常に稼動していないように感じられる。

なお、同じ動詞でも、文の他の要素によって記述と様態に分かれることがある。“在”はただ過程をそのまま述べるものが多く見られるが、“着”は過程がどのような様子で行われるかを表現するものが多く見られる。

- (46) a. 我到某机关办事，正巧办事的小伙子在打电话。 (CCL)
(用事があって役所に行ったら、丁度担当の男性が電話を掛けていた。)
- b. *我到某机关办事，正巧办事的小伙子打着电话。
- (47) a. 谢小盟悠闲地泡在泡沫浴缸里，打着电话。 (CCL)
(謝小盟はのんびりと泡たっぶりの浴槽に入って、電話を掛けていた。)
- b. *谢小盟悠闲地泡在泡沫浴缸里，在打电话。

例文(46a)は“在”を用いて、「電話を掛けている」ことだけを述べているが、例文(46b)のように“在”を“着”に置き換えられるとまだ何かを言い切れていないように文全体のバランスが崩れてしまう。例文(46b)を“我到某机关办事，正巧办事的小伙子打着电话，喝着茶，看着真叫人生气。(用事があって役所に行ったら、丁度担当の男性が電話を掛けながら、お茶を飲んでいて、それを見ていらつと頭に来た。)”に直せばより自然になる。一方、例文(47a)は“着”を用いて、「のんびりと泡たっぶりの浴槽に入って」という様態描写が文に入り、「どのような様子

で電話を掛けているか」を伝えている。例文(47b)のように“着”を“在”に置き換えられたら、「謝小盟がのんびりと泡たっぶりの浴槽に入っている」ことが言いたいかがそれとも「謝小盟が電話を掛けている」ことが言いたいかが分からなくなる。例文(47b)を「謝小盟一边泡澡，一边打电话。(謝小盟は風呂に浸かりながら、電話を掛けている。)」に直せばより自然になる。

また、“在”は“在”に後続する動詞と趨向補語“～(下)去(～テイク)”、“～(下)来(～テクル)”と共起する場合、加速を表すことができる。しかし、“着”は用いられない。

(48) a. 他似乎看到了无数人体以各种姿态纷纷在掉落下来。 (CCL)

(彼は無数の人体が様々な姿で次々と落ちてきていることが見えたようだ。)

b. *他似乎看到了无数人体以各种姿态纷纷掉落下来着。

(49) a. 满天星斗的夜里仔细瞧过天空和那些流星吗？你可以看到好像有星星在落下来，……

(CCL)

(あなたは夜空いっぱいの星空をよく見たことがあるか。まるで星がいまにも落ちてきているようだよね、…)

b. *满天星斗的夜里仔细瞧过天空和那些流星吗？你可以看到好像有星星落下来着，……

(50) a. 随后他听到头顶上有一张旧报纸在掉下来，他听到老中医说：“你把头仰起来。”

(CCL)

(とすぐに、彼は頭の上から一枚の古い新聞が落ちてくる音を聞いた。その後すぐ、彼は漢方医が「顔を上に向けてください」という声が聞こえた。)

b. *随后他听到头顶上有一张旧报纸掉下来着，他听到老中医说：“你把头仰起来。”

3.2 “在”、“着” と “已经～了”

進行相における“在”、“着”はしばしば“已经～了”と共起し、すでに過程の段階に入っていることを表す。王学群(2007)は“着”は“已经”と“了”の共起構造の中にある出来事の一部にしかなく、指摘している。確かに、進行相における“着”は出来事の一部にしかなく、指摘しているが、“着”は“已经”と“了”の共起構造の中に用いられ、どのような意味を表すかについては説明していない。本稿では、進行相における“在”、“着”と“已经～了”が共起する際、どのような意味を表すかを考察する。

“已经”と“了”の共起構造はしばしば完了相或いは結果相⁹⁾に用いられ、動作の終了或いは動作の結果を表す。

(51) 我已经看完这本书了。

(私はすでにこの本を読み終えた。)

(52) 他已经做好那件衣服了。

(この服はすでに出来上がりました。)

例文(51)は「すでにこの本を最後のページまで全部読んだ」ことを表し、例文(52)は「この服を作り上げた」ことを表す。いずれも過程の段階から状態の段階に入っていることを表す。

一方、次で示す実例はいずれも“在”、“着”と“已经～了”が共起することにより、動作が進行していることを表す。

(53) 他们所能做的最坏的事，无非是让我做我最不想做的事。我已经在做了，感觉没有什么。

(CCL)

(彼らがやれる最悪のことは、私に私がしたくないことをやらせることに過ぎない。私はすでにやっているが、特に何も感じていない。)

(54) 他持此护照在外国旅行，那就是得到了英国的保护，护照已经在发生作用了，即使其身份是假的，也关系不大了。

(CCL)

(彼はこのパスポートを持って外国で旅行しているということはイギリスの保護を受けていることで、パスポートがすでに作用を発揮している。たとえ身分が偽りだったとしても大したことはない。)

例文(53)は「していない」状態から「している」過程にすでに入っていることを表す。例文(54)はそれぞれ「パスポートが作用を発揮していない」状態から「パスポートが作用を発揮してる」過程にすでに入っていることを表す。言い換えれば、“已经～了”が切り換えの変化をもたらした。“已经～了”と共起しない場合、“我在做”はただ「やっている」で、変化の意味は含めない。一方、“已经～了”と共起する場合、“我已经在做了”は「ある時点までやっていなかった状態から、ある時点をきっかけにやり始めて、やっている」という変化の意味を含む。

(55) A: (妈妈外出回来了，看见儿子的鞋就对着屋里的儿子说)

你还没吃晚饭呢吧。锅里有饭。你吃吗?

((お母さんが外から帰ってきて、玄関にある息子の靴を見て、部屋の中にいる息子に話かけた。)あなた晩御飯まだでしょう。鍋に御飯あるよ。食べる?)

B: 我看见了。我已经在吃了。不用管我，您歇着吧。

(見たよ。今食べているよ。気にしないで、休んでよ。)

例文(55)の会話文を見ると、どのような状況で“已经在～了”或いは“已经～着了”が用いられるかがよく分かる。

4 おわりに

以上の分析から進行相における“在”、“着”の諸特性が明らかになった。まず、“在”、“着”は動作の動きの流れの中で状態ではなく過程を表し、また、“在”、“着”は非完結性と持続性という特徴を持つ。一方、“着”は進行相以外の残存相と持続相に用いられる際、完結性という特徴を持つ。完結性は非完結性とは異なって、動作の動きが終了した後の状態を表す。なお、“在”、“着”は動詞の影響を受け、動態過程或いは静態過程を表す。両者は置き換えられる場合もあれば、置き換えられない場合もある。また、“在”、“着”は進行相における“在”、“着”は“已经～了”構造と共起し、すでに過程の段階に入っている変化を表す。

今後は“在”、“着”と動詞との関係を中心に、進行相に用いられる動詞の分類を試み、動詞がもたらす影響について検討していきたい。

<注>

- 1) 朱繼征(2000:pp. 19-28)は動相とは動詞の表す時間的動きの全過程のどの局面に焦点を当てて、その時間的動きを捉え、表現するののかを表し分ける形式であると定義している。動相諸形式は將然相、起動相、進行相、完了相、結果相、残存相、持続相、経験相に分けられる。進行相とは動作・作用が正に行われている過程を指す。動作の進行は一定の時間がかかるもので、時間的な幅がある。動相形式“在～”は進行相の二次形式(抽象度の低いものを指す)であり、動相形式“～着”は一次形式(抽象度の高いものを指す)である。残存相とは動作によってある場所に存在者/物を残存させた過程を指す。残存状態が一定の時間持続するもので、時間的な幅がある。持続相とは動作・作用が終了した後、動作主の姿勢或いは動作の受け手の静止状態がずっと持続する過程を指す。動作主の姿勢或いは受け手の静止状態が持続するのに、一定の時間が必要なので、時間的な幅がある。
- 2) 戴耀晶(2001:pp. 179-183)は“着”に関して不完結性と完結性という概念を提出した。完結性が指示するのは文がイベント構成全体の性質を表すということであり、分析前のイベントについて言語使用者が行った外部(outside)からの観察を表す。一方、不完結性が指示するのは文がイベント構成の局所的性質を表すということであり、分析後のイベントに対して言語使用者が行った内部(inside)からの観察を表す。これを通じて、“着”と“了”の区別を分析した。ただし、“在”と“着”の区別に関しては触れていない。
- 3) 安本真弓(2009:pp. 19-38)の結果補語と趨向補語についての定義と分類に従う。
- 4) 朱繼征(2000:pp. 19-28)の中国語の動相分類と定義に従う。残存相とは動作によってある場所に存在者/物を残存させた過程を指す。残存状態が一定の時間持続するもので、時間的な幅がある。持続相とは動作・作用が終了した後、動作主の姿勢或いは動作の受け手の静止状態がずっと持続する過程を指す。動作主の姿勢或いは受け手の静止状態が持続するのに、一定の時間が必要なので、時間的な幅がある。
- 5) 戴耀晶(2001:pp. 179-183)は“着”は持続性(duration)という特徴があると主張している。本稿との持続性の定義と異なる。戴氏は持続性が指示するのはイベントプロセスが連続するということである。“着”は文が表すイベントがちょうど絶え間なく連続するプロセスにあることを明示すると指摘している。
- 6) 本稿で言う反復不可能タイプ瞬間動詞は、動作量を表す語句と共起できない。例えば、“*死了两次”、“*离开了一回”などがある。
- 7) 本稿で言う反復可能タイプ瞬間動詞は、動作量を表す語句と共起できる。例えば、“打了两次(二回打つた)”、“敲了三下(三回叩いた)”などがある。
- 8) 本稿では張秀(2000:pp. 1-38)の参照時間という概念を基に、参照時点という用語を用いる。張秀(2000:pp. 1-38)が言う参照時間は通常発話時間でもなく動作発生時間でもなくある指定された時間を指す。
- 9) 朱繼征(2000:pp. 19-28)の中国語の動相分類と定義に従う。完了相とは動作・作用が終了する過程を指す。動作の動的状態から静止状態への切り換えの段階を表す。結果相とは動作・作用によって結果を生じさせた過程を指す。

<引用文献>

- 張 秀 2000. 「中国語動詞の「アスペクト」と「テンス」の体系」, 『テンスとアスペクトⅠ』于康・張勤編, 2000年, 東京:好文出版, 1-38頁。
- 木村英樹 2012. 『中国語文法の意味とのかたち—「虚」的意味の形態化と構造化に関する研究』, 東京:白帝社。
- 興水 優、島田亜実 2009. 『中国語わかる文法』, 東京:大修館書店。
- 呂 叔湘 1980. 《現代漢語八百詞（増訂本）》, 北京:商務印書館。
- 王 亜新 2011. 『中国語の構文』, 東京:アルク。
- 王 学群 2007. 『中国語の“V着”に関する研究』, 東京:白帝社。
- 劉 月華・潘 文娛・故 韡 1996. 『現代中国語文法総覧』, 東京:くろしお出版。
- 劉 綺紋 2006. 『中国語のアスペクトとモダリティ』, 大阪:大阪大学出版会。
- 朱 継征 2000. 『中国語の動相』, 東京:白帝社。
- 戴 耀晶 2001. 「動詞の後の「着」と「过」に関する意味分析」, 『テンスとアスペクトⅢ』于康・張勤編, 2001年, 東京:好文出版, 179-212頁。
- 藤堂明保・相原 茂 1985. 『新訂 中国語概論』, 東京:大修館書店。
- 王 娇 2011. 〈“在V着”结构的语法语义分析〉, 《社会科学学科研究科教导刊》2011年4月(中)期, 186-187頁。
- 肖 奚强 2002. 〈“正(在)”、“在”与“着”功能比较研究〉, 《语言研究》2002年第4期, 27-34頁。
- 杨 西彬 2013. 〈“在+V”与“V+着”的格式义及其对句法语用的制约〉, 《语言教学与研究》2013年第1期, 56-62頁。
- 安本真弓 2009. 『現代中国語における可能表現の意味分析—可能補語を中心に』, 東京:白帝社。

<例文出典>

CCL: 北京大学中国言語学研究センターのデータベース。

《金光大道》: 《金光大道》浩然, 京华出版社, 1994年。中日対訳語料庫に収録されている。

『耀ける道』: 《金光大道》の日本語訳版。中日対訳語料庫に収録されている。

劉綺紋 2006:p294; 劉綺紋 2006. 『中国語のアスペクトとモダリティ』, 大阪大学出版会。

王学群 2007:p226; 王学群 2007. 『中国語の“V着”に関する研究』, 白帝社。

出典の表記がない例文はすべて筆者による作例である。

出典の表記がない例文の日本語訳はすべて筆者によるものである。

主指導教員（朱継征教授）、副指導教員（大竹芳夫教授・土屋太祐准教授）